

# 『日本語コーパスの世界へようこそ』 企画から出版まで

大修館書店企画推進部 松岡滯

2024/11/30  
アクラスzoom寺子屋

1

## こんな本にしたい

### 砂川先生

- ▶ コーパスをみんなに知ってもらいたい、使ってもらいたい
- ▶ 若い人（中高生や大学生）に読んでもらいたい

### 大修館書店

- ▶ コーパスをまったく知らない人でも読める本にしたい
- ▶ 言葉に興味のある一般の人にも楽しめるようにしたい



- 手に取りやすく、楽しい雰囲気の本に
- 入門書であることが書名や装丁からわかるように

2

## 「本」にするために工夫したこと

1. 体裁
2. 構成（付録）
3. 書名
4. 装丁
5. イラスト

3

## 1. 体裁

- ▶ できるだけコンパクトでライトに
- ▶ 四六判（18.8cm×12.8cm）
- ▶ 160ページ（厚さ1.5cm程度）
- ▶ 縦書き

4

## 本文のイメージ

5

逃亡先は「海外」か「国外」か

海外の日本語教師たち  
海外の人々に日本語を教える日本人が世界中で活躍しています。国際交流基金が二〇二一年度  
に実施した調査によると、海外で日本語教師をしている日本人の数は一万三千人強、日本語教育  
が行われている国や地域の数は二四一もあるそうです。この調査では「日本語教師」とある  
ので、必ずしも日本人は限りませんが、便宜上、ここでは「日本人」と書きます。異郷の地  
で日本語を教える人がそんなにたくさん存在することは驚きですが、海外の日本語教師全体  
の数がらすると日本人の割合は比較的小さく、一七・七%を占めるだけなのです。つまり、残  
りの八二・三%は外国籍として日本語を身につけた現地の教師たちで、その数は六万一千人を超  
えるというのですから、これも驚きです。

私は、大学で日本語教師の養成を担当してきた関係で、現職の日本語教師研修のため海外に招  
かれることが少なくありません。海外の研修には日本人教師だけでなく日本語を母語としない現  
地の教師も多数参加します。その中には、元はロシア語やフランス語の教師だったけれど、日本  
語を習いたい学生が増えたため、自身も日本語を学んで、次第に日本語教師に転身した人もあ  
りました。日本語学習者が急激に増えた一九八〇・九〇年代にはそんな人たちの出合いが何回もあり  
ました。今も覚えていた言語とは全く別の新しい言語を学習して、習いたての言語を教えるな  
ら、どだけのエネルギーが必要なのかと思いますが、彼らはまさにエネルギーの塊で、真剣  
に日本語と日本語教授法の研修に取り組んでいました。

良い用例を考えるのは難しい。  
日本語を教えるためには学生に単語の意味や使い方を教えたり、語彙や文法教材のための用例  
を作ったりしなければなりません。語彙や文法の理解を促すことのできる良い用例を考えること  
は、日本語教師が身に付けなければならない重要な技術の一つなのです。しかし、それは日本語  
の母語教師にとってもなかなか難しいことです。日本語の感覚に母語者ほどの自信がない非  
母語教師にはさらなる負担の大きな作業となります。そこで日本語教師研修では、母語教師と

65 逃亡先は「海外」か「国外」か

64

5

## 2. 構成（付録）

- ▶ コーパスの基本的な使い方と、本文に出てくるコーパスを  
まとめて紹介する「はじめてのコーパス使い方ガイド」
- ▶ 各章で使用したコーパスを一覧できる  
「コーパス出典一覧」
- ▶ 用語の「索引」

6



## 4. イラスト

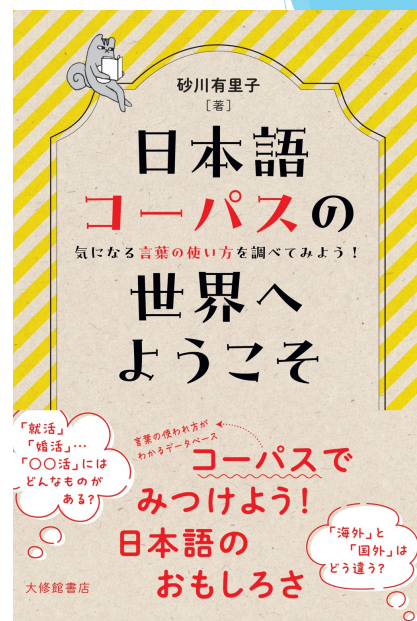
- ▶ 楽しい雰囲気にするためにイラストを入れた
- ▶ 動物のキャラクターが本を読んだりコーパス調査をしたりしているイラストがよいのではということに
- ▶ 砂川先生から「ぼのぼの」がお好きということを知り、「リスもいいな」と思ってデザイナーに伝えた

9

## 5. 装丁

[デザイナーへの要望]

- ▶ 軽やかで明るいイメージ
- ▶ 書体は遊び心があるものでもOK
- ▶ 砂川先生のお好きな「黄色」か「緑色」
- ▶ 本文で使っているストライプを入れる？
- ▶ イラストを装丁にも使ってほしい
- ▶ 帯に例を出したい



10